



# 地球通信

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN  
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局  
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12  
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836  
<http://www.kotoba.ac.jp>



## 2025 謹賀新年

本年も地域の皆様に愛される学校であり続けるよう、国際ことば学院一同努力してまいります。各校の校長より新年のご挨拶を申し上げます。

謹賀新年 「か弱き葦の力」

国際ことば学院外国語専門学校 校長 袴田 靖子

昨年は、幕開けから年末まで、終わりの見えない戦争に加え、世界各地での度重なる災害など暗いことの多い一年でした。人の命が軽んじられ、世界はなかなか平和に向かおうとしません。また、ネット社会になったことも我々の生き方を大きく変えました。便利になった反面、他者を貶める言葉や偽情報があふれています。私自身も〇〇ハラスメントしてはいないか、また詐欺にあたりはしないかと、結構気を使って生きるようになりました。

これまで暗黙に正しいと信じてきた普遍的な価値観は大きく揺らいでいます。世界のリーダー達にも信頼できる導きを託していいのかわかりません。迷走する世界情勢の中重要なのは、か弱き葦のような我々人間一人一人の、何にも忖度せず本物を見抜く力や右にも左にも行き過ぎないバランス感覚などを鍛えることではないかと思えます。

KKGの存在意義は、違いを乗り越え、より良い社会を作ろうとする人間を育てることです。言葉を学ぶことを通して、世界がどんなに変わろうが、世界がどんなに多くの困難を抱えようが、か弱くとも覚悟を持った葦の力が国を作り、世界を変えることにつながることを信じ、学生の人間性や考え方にも影響力を示していける学校でありたいと願っています。激動の世界を前に、地に足を付けた生き方を示しつつ、学生たちを良心に満ちた人間に育てていこうと思いを新たにしました。

『熱中時代 日本語教師編』

国際ことば学院日本語学校 校長 野田 敏郎

今からもう40年以上も前に制作された『熱中時代』というTVドラマが昨年BSで再放送され、欠かさず見ていました。このドラマは東京の小学校を舞台に、そこで繰り広げられる新人教師の様々な葛藤が描かれています。通信簿の評価方法をめぐる課題や、子に過剰に干渉してしまう親と学校との衝突など、昔も今も教育現場での悩みであり続け、そして日本語学校にも共通した課題があるものだとあらためて思い知らされました。

もうひとつ、これはやや特殊な事情ですが、『熱中時代』のロケ地は実は私の通っていた東京・吉祥寺にある市立小学校でした。撮影当時はちょうど創立50年にあたり、校庭の隅に記念碑がちらりと映りこんでいます。そのころ私は小学3年で、創立100年まで自分は生きていられるのだろうかと思っていたものです。ふと気がつけば今年日本語教師30周年、そして国際ことば学院は創立34年をむかえます。さすがに年齢や立場もあって常時フィーバーしているわけにはいかないのですが時代は移っても、自分の「熱中時代」を生き続けていきたい気持ちです。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。富士市に赴任して早いもので、もう9か月となりました。7年ぶりの静岡の冬ですが、太平洋側特有のからっとした冬の青空に、なつかしさと清々しさを感じております。

昨年4月から日本語教育機関認定法が施行され、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るべく、「日本語教育の参照枠」を参照したカリキュラム作りが求められています。これを良い機会として、富士山日本語学校においても、これまで培ってきたものを棚卸し、再構成し、新しいものを取り入れながら、よりよい教育体制を築いていく所存です。参照枠の「3つの柱」の一つにも「学習者を社会的存在としてとらえる」という理念ありますが、それは本校が目指す、社会の一員として共に支えあう人間になってほしいという目標に通じるところがあります。これからも目の前の学生たちと向き合いつつ、社会の変化に柔軟に対応しながら、実りのある学びの場を提供していきたいと思ひます。

富士山日本語学校 校長 佐藤 広規

## 2025年 新年の抱負

～専門学校に入学した学生たちに聞いてみました～

- ・日本で就職したい。そして今年には帰国したい。(ダンディンデー)
- ・日本一の絶叫マシンにチャレンジ。(華菜)
- ・韓国の生活に慣れて良い成績を残す。(咲良)
- ・英語を話せるようになるために日常的に英語を使っていく！(塚本泰誠)
- ・新しいスキルを身につけたい。(ハニー)
- ・入社した後、一生けんめいかんばります。(サミクチャ)
- ・家族に良い幸せを作ってあげたい(ティギトウン)
- ・JLPT N1に受かって日本で就職する(Dam Nhan Hung)
- ・新しい仕事で精一杯頑張る、もっと健康で幸せな人間になりたいです。(Ana)
- ・韓国へ行きたい。(ラクマール)
- ・就職して仕事をがんばります。(プспа)
- ・3月に学校を卒業し、4月から職場で働き続け、来年末までにお金をためたいです。(ネツテュミ)
- ・今までどこにも行けなかった私。日本の会社で働いて暇な時は友達と旅行します。日本語は今より上手になりたいです。就職して生活を楽しみたいです。(トウトウテツ)
- ・将来に向けて貯金を頑張る(みか)
- ・北アルプス 山に登りたい(ファジャリ)
- ・色々な事に挑戦する年にしたい。(Aina)
- ・富士山に登ります(タオ)
- ・勉強を頑張るのみ(松本守生)
- ・留学生活に適応する(妃羅)



### 初めての経験Vol.2



留学生にとっての「初めての経験」。前回に続き第2弾です。

■一番印象に残っているのは七夕です。日本語学校で日本の文化を初めて知って嬉しかったです。皆で着物を着て、そして色とりどりの紙に願い事を書いて笹につるし祈りました。先生から七夕のストーリーを教えてください、勉強になりました。(サミクチャ)

■私の国では山が多くて自転車にあまり乗らないので、日本に来て初めて乗りました。乗れるようになるまでだいたい一週間ぐらいかかりました。でも学校やアルバイトにはアパートから遠いので行くのは大変でした。車が多いところは自転車を降りて行くようにしていましたが、そうすると絶対遅刻しますから自信をつけるために、たくさん練習しました。今では車が多い所でも大丈夫です。(プспа)



senmon\_after school

FOLLOW



11月18日に専門学校の学生による学校説明会が行われ、国際ことば学院日本語学校から多くの学生にご参加いただきました。「勉強は大変?」「お金は大丈夫?」など、学生同士でいろいろな情報交換ができたようです。またこのような会が開催できたらと思います。(堀場)

## <英語成果発表会 English Presentations and Performances>

去る12月12日（木）、二年間の英語学習の集大成である「英語成果発表会」が開催されました。参加した学生は、プレゼンテーションに加え、英語の歌も披露し、発表会を盛り上げてくれました。司会を務め、ハイクラスの部で3位入賞と活躍した塚本泰誠さん（F2A）が以下のコメントを寄せてくれました。（小林典子）

「僕は、今回の発表会で司会を務め、発表者としてプレゼンテーションをしました。内容は「私の2年間」というもので、この専門学校で過ごした2年間、何をし、何を学んだかを発表しました。英語の発音に苦戦する時がありましたが、先生方に教えてもらいながら繰り返し練習したことで、本番ではほぼ原稿を見ずに自信を持って発表をすることができました。大勢の前で英語の発表をするのは初めてのことで、少し緊張しました。他の発表者のプレゼンを見ると、自分の英語の発音はまだまだ未熟だと実感しました。それも含めて今回の成果発表会は良い経験になりました。もっと英語を使って自分の思いを伝えられるようになりたいです。」



## <静岡日韓友好 FESTIVAL>

静岡日韓友好フェスティバルが12月1日（日）に「MIRAIEリアンコミュニティホール七間町」で開催されました。第13回韓国語スピーチの暗誦部門に宮城島未結さん（F1A）、スピーチ部門に田辺咲良さん（F2A）、城田朱鶴さん（F2A）が参加しました。宮城島さんは初めての出場ですが、持ち味の表現力で見事に表現賞を受賞しました。スピーチ部門の田辺さんと城田さんは過去に出場経験もあり、非常に安定感のある発表をしてくれました。田辺さんは大賞、城田さんは銀賞を受賞しました。スピーチの指導をくださった鄭淑然先生にも感謝いたします。

そして、第2部のK-POP部門にはダンス経験豊富な杉山美翔（F2A）さんが率いる、柳澤湖呀さん（F1A）、三浦志真さん（F1A）、3人のダンスグループが、「MIKOSHI」のグループ名で出場しました。練習の成果を存分に発揮し、ステージを彩ってくれました。（小林蓮佳）



## <東海大学付属静岡翔洋小学校との交流会>

11月12日、東海大学付属静岡翔洋小学校にて国際交流会が行われ、7カ国の学生たちと訪問しました。学生たちは自分の国の文化を紹介し小学生たちと歌やゲームなどで盛り上がり、また小学生たちからは日本の都道府県や静岡の観光地、名産品などをクイズ形式で紹介してもらいました。発表では緊張していた小学生も、休み時間になるとパワー全開。「おにごっこ」や「だるまさんがころんだ」など、留学生とおもいきり遊んで充実した時間を過ごしてもらえたようでした。また留学生にとっても、普段あまり接することのない日本の子どもたちとの時間は貴重だったようです。（堀場）



### 就職指導室より

2023年から始まった「ビジネスコミュニケーション学科」の学生も早いもので卒業まで残り2カ月となりました。内定先も今までの「通訳・翻訳」から「事務」「営業」「生産管理」「店舗管理」とさまざまな職種に決まりました。4月から新生活が始まりますが、内定を頂いた日の「やったー！」という気持ちを忘れずに、一日一日を大切に過ごしてください。（山西）





## 防災訓練



11月6日に防災訓練を行いました。学校にいた際に地震が起きた場合を想定し、まずは初動の確認。その後家が近い人同士でグループになり、家で地震がおきた場合は、どこの避難場所に行くか、どのルートで避難場所まで行くのが安全か、みんなで調べて確認しました。近くに住んでいる学生同士で交流を図ることもでき、何かあった際は助け合える体制を作ることができました。学生達も日本は地震大国ということを知っており真剣に取り組んでいました。

（池ヶ谷）



## 植樹活動に参加！



11月17日賤機山の植樹活動に参加させていただきました。前日は大雨が降ったため、当日の天候が心配されましたが、見事に晴天に恵まれ、植樹日和となりました。地面がぬかるんでいたため、足を取られてしまう学生もいましたが、皆で協力し、無事に植樹を終えることができました。中には、日本人学生と協力している姿も見られ、国際交流の場としても貴重な経験となったことと思います。

参加した学生からは、「山に登るのは初めてです！」「日本の自然は本当に豊かですね。」といった声が聞かれ、今回の活動を通して、自然の素晴らしさや大切さを実感できたようです。教室では学ぶことのできない貴重な体験となったことと思います。（渡部）



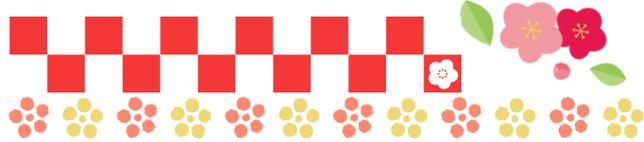
## 遠足に行ってきました～



12月4日、学校遠足を行いました。1日バスコースでは、富士山世界遺産センターと白糸の滝へ。半日コースでは電車に乗って清水港についての講座を受けにマリビルへ行きました。

当日はお天気に恵まれ、どちらのコースからもとても綺麗な富士山を見ることができ、学生たちは壮大な富士山や清水港をバックにたくさん写真を撮っていました。12月とは思えぬ暖かさだったため、1日バスコースのお昼休憩時には、持参したお弁当をひろげ公園でピクニックをしたり、テラス席で富士宮焼きそばを食べたりしました。学生たちは静岡の魅力を知ることができ、とても良い遠足となりました。（長江）





**小木の里まつり**

10月6日（日）富士市駅南まちづくりセンターで毎年行われている。「小木の里まつり」に、多くの本校の学生がボランティアとして参加しました。

今年の活動はステージ、フォトブースや工作ブースの案内、ミャンマーを支援している静ユースの出店の手伝い、ステージのクイズコーナーの参加者呼びかけなど、多岐にわたり、学生たちは不慣れながらも一生懸命取り組んでいました。ステージでは、感謝祭に引き続きミャンマーとネパールの学生たちが踊りを披露し、会場を大いに盛り上げました。また、工作ブースでは、日本人の方と一緒に作業をしながら地域の方々と交流し、「日本語学校の皆さんが一生懸命取り組んでくれていて、爽やかでした」というお褒めの言葉もいただきました。学生たちは、ボランティア活動だけでなく、クイズコーナーやお茶体験にも参加し、日本の文化や地域イベントを楽しむ場面も見られました。最初は呼びかけに恥ずかしそうな様子を見せていた学生たちも、次第に大きな声で自信を持って参加者を募集するなど、普段の生活ではあまり使わない日本語にも積極的に挑戦し、日本人の方々とやり取りを通して自分たちの日本語力を試す貴重な経験になったようです。こうした地域のイベントを通じて、学生たちは地域のつながりや温かさを感じるとともに、日本社会の一員としての自覚を深める機会になったと思います。今回の経験が、学生たちにとって素晴らしい思い出と学びになったことは間違いありません。



**日本語ボランティア @富士市国際交流ラウンジ FILS**

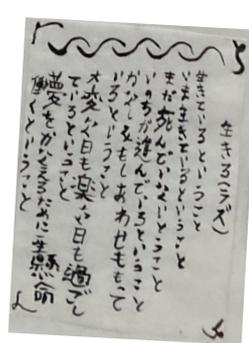
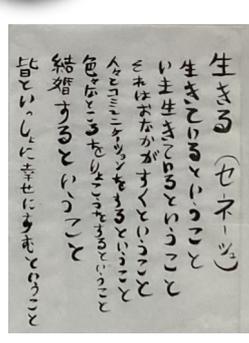
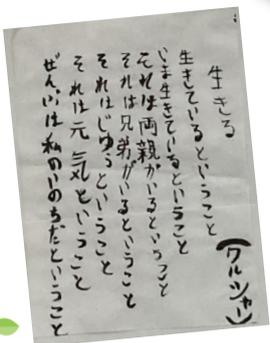
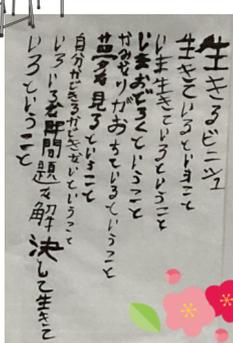
11月26日（火）日本語養成講座のお手伝いに学生9名が参加しました。参加した学生のコメントを紹介します。

今回のイベントで外国人と日本語を学ぶ楽しさを再確認しました。また、日本語を学ぶ外国の方々と自然に会話を交わすことができ、言葉の壁を感じながらも、コミュニケーションが広がる瞬間に喜びを感じました。教える立場というよりは、お互いの文化を尊重し合い、とてもリラックスした雰囲気でした。今回の体験を通じて、言語の学び方に対する新しい視点を得ることができました。 **タンミヤツ（ミャンマー）**



**吉原高校 交際交流講座**

12月20日（日）に吉原高校で行われた国際交流講座に参加してきました。講座は参加者の自発性と協調性を重視するOST（OpenSpaceTechnology）という手法を用いて行われ、文化紹介をしたり、一緒にダンスをしたりと、様々な形で交流活動が行われました。最初は学生たちも戸惑っていましたが、徐々に打ち解けていき、最後には中高生の人たちと、会話やダンスを通して心を通わせているようでした。ぜひ、今後もこのような活動を通して、様々な社会を体験してもらいたいと思います。



留学生の「生きる」とは…  
 Cクラスが  
 谷川俊太郎の詩「生きる」を参考に作りました。



## 学校法人 国際ことば学院 お知らせ

### 2024年度 卒業式のご案内

#### 富士山日本語学校

##### ◆卒業式 3月8日（土）

- ・時間：10時30分～12時15分（開場：10：15）
- ・会場：ロゼシアター 中ホール

##### ◆懇親会

- ・時間：13時00分～15時00分（開場：12：45）
- ・会場：ロゼシアター レセプションホール

<有料> お一人様 3000円

（※お時間につきましては多少前後する場合がございます。）

#### 国際ことば学院外国語専門学校

##### ◆卒業式 3月6日（木）

- 時間：10時開場 10時30分開式
- 会場：グランシップ6階 交流ホール

##### ◆懇親会 同日 12時30分～（予定）

- 会場：グランシップ9階 908会議室（有料）

#### 国際ことば学院日本語学校

##### ◆卒業式 3月11日（火）

- 時間：9時50分～12時（予定）
- 会場：グランシップ11階 会議ホール・風

##### ◆懇親会 同日12時30分～（予定）

- 会場：グランシップ10階（有料）

### <その他のお知らせ>

#### 国際ことば学院日本語学校

『ことばの祭り』（旧：学習成果発表会）

日時：2月14日（金）

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

展示部門：10時30分～（予定）小ホール

ステージ部門：13時15分～（予定）大ホール

### ・干支タオルありがとうございます！

- ・支援者様の小島様より干支のタオルを頂きました。グループ全体の学生に配布いたしました。へびのプリント柄がかわいいですね！ありがとうございます。



## 今年の巳年はどんな年？

今年が巳年ですね。2025年は60年に一度巡ってくる「乙巳（きのと・み）」の年になります！乙巳は六十干支の一つで、大変珍しい組み合わせだそうです。乙巳年は、新しいものが生まれ成長していく年と言われています。

- ・ **変化と革新**：古いものを捨て、新しいものを生み出す年です。
- ・ **成長と発展**：様々なものが大きく成長し、発展していく年です。
- ・ **チャンス之年**：新しいことを始めるチャンスがたくさん巡ってくる年です。

新しいスタートを切るチャンスが訪れるかもしれませんね！（特に恋愛だそうです♡）

<編集後記> 編集長：山田/ 編集：池ヶ谷、長江、杉山(み)、青山、渡邊

2025年がスタートしました。新年の目標や豊富などありますか？個人的には今年「ゆとり」を持つ！というのが目標です。なんとなく心忙しい1年だったので心軽やかに過ごせるようにしたいです。みなさまにとって良い年となりますように！本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES  
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091  
WEBSITE: <http://sp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: [ask@kotoba.ac.jp](mailto:ask@kotoba.ac.jp)

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL  
国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338  
WEBSITE: <http://jp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: [info@kotoba.ac.jp](mailto:info@kotoba.ac.jp)

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL  
富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558  
WEBSITE: <http://fujisan.kotoba.ac.jp> E-MAIL: [fujisan@kotoba.ac.jp](mailto:fujisan@kotoba.ac.jp)